

## 情報セキュリティ 10大脅威2022

～企業向け～



順位	脅威	昨年順位	昨年比較
1位	ランサムウェアによる被害	1	—
2位	標的型攻撃による機密情報の窃取	2	—
3位	サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃	4	↑
4位	テレワーク等のニューノーマルな働き方を狙った攻撃	3	↓
5位	内部不正による情報漏えい	6	↑
6位	脆弱性対策情報の公開に伴う悪用増加	10	↑
7位	修正プログラムの公開前を狙う攻撃(ゼロデイ攻撃)		NEW
8位	ビジネスメール詐欺による金銭被害	5	↓
9位	予期せぬIT基盤の障害に伴う業務停止	7	↓
10位	不注意による情報漏えい等の被害	9	↓

「情報セキュリティ10大脅威2020」公開:独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

「情報セキュリティ10大脅威2022」とは…

IPAが公開している、その年の状況等からセキュリティ脅威を順位付けしたもの。

順位が上位のものには特に注意してください!

### 第1位「ランサムウェアによる被害」



攻撃者は、

ネットワークに侵入し、データを暗号化

+

身代金を支払わなければ窃取した情報を公開するという、二重の脅迫をしてきます。



定期的にバックアップデータを作成し、ネットワークから分離して保管しましょう。



### 第2位「標的型攻撃による機密情報の窃取」



- ・ 電子メール添付のファイルにウイルスを仕込み添付ファイルを開くことでPCをウイルス感染させる
- ・ クラウドサービスの脆弱性を悪用して、システムに侵入し、PCをウイルスに感染させるなどがあります。



電子メールに添付されたファイルの取り扱いは、慎重に!



### 第3位「サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃」



直接攻撃が困難な組織に対して、取引先、委託先を攻撃することで間接的、段階的に標的の組織を狙ってきます。



取引先、委託先と積極的なコミュニケーションを取り、自社はもちろんサプライチェーン全体に対するセキュリティ対策を!

